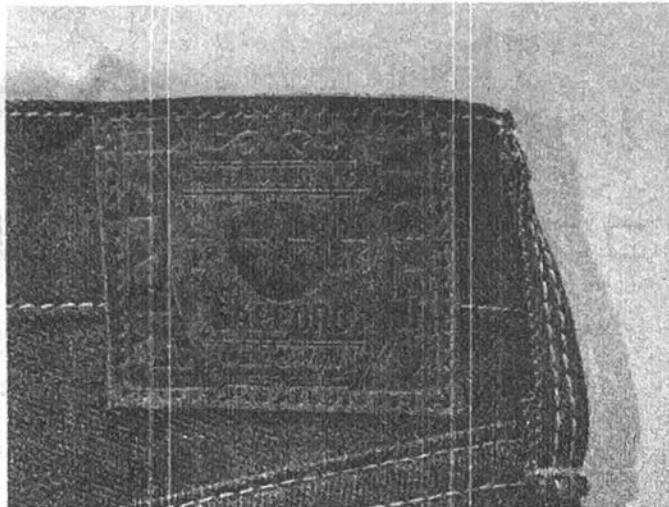


# ビール製造の副産物で アップサイクルジーンズ

サッポロビールはビール製造の副産物を使ったアップサイクルジーンズを製品化し、このほど販売を始めた。「黒ラベル」のロゴに使われているビールカラーのイエローの

ステッチが特徴のストリートジーンズだ。黒ラベルの会員制サイト「CLUB黒ラベル」内のECショップで取り扱っている。価格は送料込みで4万1800円。



レザーパーチに「黒ラベル」のロゴ

生地原料に使ったのは、黒ラベルの製造工程で廃棄される麦芽の殻「モルトファイバー」やホップの茎や葉など。まずモルトファイバーなどをパウダー化し、マニラ麻を混ぜ合

わせて和紙を作成。その和紙から糸を紡いだ。緯糸の和紙糸と、インディゴ染料で染めた経糸で織った。

サトウキビの搾りかすを使いデニム製品を製造するシマ・デニム・ワックス（沖縄県浦添市）などと連携して製品化した。ビール製造過程で生じるモルトファイバーと

いった副産物は家畜の餌や畑の肥料に使われてきたが、ジーンズに生まれ変わることで用途の可能性が広がった。細部のデザインにもこだわっている。レザーパーチには黒ラベルのロゴをあしらった。トップボタンには黒ラベルのシンボルである星と、サッポ

ロビールの前身である開拓使麦酒醸造所（札幌市）が開業した年にちなみ「SINCE1876」と表記。リベットは麦の穂をモチーフに、ピスネームは黒ラベルのロゴマークを二つに折ったデザインにした。

同社は今年4月にもビールの副産物を使ったジーンズを30着限定で製造し、「CLUB黒ラベル」内のECショップで抽選販売を行っている。1600件もの応募があり大反響だった。第2弾となる今回はビールカラーのイエローステッチを打ち

出し製品化した。通年販売する。

今年で発売から45周年を迎えた黒ラベル「CLUB黒ラベル」は4月のリニューアル以降、会員数が約10万人増えた。同

社はブランドにまつわるストーリーや、ジーンズの制作・販売といったユニークなブランドアクションを通じて黒ラベルをユーザーに訴求していく。